

- 問1 平安時代に紫式部によって執筆され、唐などの中国文化をもとに日本の生活や感情に合わせて発展した文化を代表する長編小説として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 徒然草 | 2. 平家物語 | 3. 源氏物語 | 4. 枕草子 |
|--------|---------|---------|--------|
-
- 問2 平安時代、11世紀頃の日本の歴史について述べた資料において、当時の文化の広まりとともに、漢字を簡略化したり、その一部を取ったりして作られた日本独自の文字を用いて『源氏物語』が執筆されたことが示されています。この時、新しく生み出された文字を何といいますか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 象形文字 | 2. 万葉仮名 | 3. 仮名文字 | 4. ハングル |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問3 藤原氏が行った「摂関政治」の仕組みについて説明したものととして、最も適切な記述はどれですか。 (2025年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 天皇が幼少のときには摂政として、成人した後は関白として、政治の実権を握った。 | 2. 天皇が位を退いて上皇となった後、院政を行って天皇の成人に関わらず政治を主導した。 | 3. 太政大臣として太政官の最高責任者になり、天皇の許可なく法律を制定した。 | 4. 武家社会の代表として、朝廷から征夷大將軍に任じられ、政治の全権を委ねられた。 |
|---|---|--|---|
-
- 問4 平清盛が率いる平氏は、急速な勢力拡大に対して反発した源氏との間で、全国規模の争乱を繰り上げました。平氏が最終的に滅亡した、現在の山口県に位置する戦いの場所として適切なものを答えなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 壇ノ浦 | 2. 屋島 | 3. 富士川 | 4. 一の谷 |
|--------|-------|--------|--------|
-
- 問5 平安時代初期に最澄や空海が伝えた新しい仏教は、奈良時代の仏教が政治に深く関わりすぎたことへの反省から、ある共通した特徴を持っていました。その特徴を説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|------------------------------------|-----------------------------------|--|
| 1. 文字の読めない庶民のために、念仏を唱えるだけで救われると説くことを重視した。 | 2. 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を行うことを重視した。 | 3. 海外との貿易を盛んに行い、寺院の資金を蓄えることを重視した。 | 4. 都の中心部に巨大な寺院を築き、天皇の政治を直接補佐することを重視した。 |
|---|------------------------------------|-----------------------------------|--|
-
- 問6 藤原道長が、当時の政治体制において強大な権力を維持し続けることができた理由として、適切な仕組みはどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 唐の律令を模範とした新しい法律を制定し、能力に関わらずすべての人を役人として登用したため。 | 2. 京都の東山に山荘を建てて芸術や文化を保護し、武士や僧侶たちの支持を広く集めたため。 | 3. 自分の娘を天皇と結婚させ、その間に生まれた皇子を次の天皇に立てて、自らが外祖父として後見したため。 | 4. 海外との貿易を独占して経済力を高め、その財力を用いて各地に強力な軍隊を派遣したため。 |
|--|--|--|---|
-
- 問7 平安時代中期に貴族の間で発達した「国風文化」における生活様式の変化について、建築と衣服の観点から説明したものととして正しいものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 建築では大陸の様式をそのまま取り入れた壮大な石造建築が、衣服では活動的な胡服が主流となった。 | 2. 建築では禅宗の影響を受けた書院造が、衣服では武士の礼装である直垂や素襦が一般的となった。 | 3. 建築では日本特有の寝殿造が、衣服では男性の正装である束帯や女性の十二単などが用いられるようになった。 | 4. 建築では仏教儀式を独占するための寺院建築のみが発達し、衣服では庶民と同じ麻布の着物が推奨された。 |
|---|---|---|---|
-
- 問8 平安時代の皇族と藤原氏のつながりを示す系図において、藤原道長が自分の娘である彰子などを次々と天皇の後（きさき）にし、その子供が天皇に即位する流れが繰り返されていることがわかります。藤原氏がこのようにして権力を独占した手法と目的について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 遣唐使を通じて得た海外の知識を独占し、天皇を政治から遠ざけて知識層による共和制を行うため | 2. 天皇の位を廃止して、藤原氏自らが新しい王朝を開くための正当性を得るため | 3. 天皇の母方の祖父（外戚）という立場を確立し、天皇を後見することで政治の実権を握るため | 4. 武士団を組織して軍事的な圧力をかけ、太政官などの伝統的な行政組織を廃止するため |
|---|--|---|--|
-
- 問9 桓武天皇は、朝廷の支配力を高めるために東北地方へ大規模な軍を派遣しました。このとき、軍の総大将として任命され、蝦夷（えみし）の抵抗を抑えて現在の岩手県に胆沢城を築くなどの成果を上げた人物と、その官職名の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|-----------------|---------------|-----------------|
| 1. 坂上田村麻呂 — 征夷大將軍 | 2. 中大兄皇子 — 太政大臣 | 3. 小野妹子 — 遣隋使 | 4. 足利尊氏 — 征夷大將軍 |
|-------------------|-----------------|---------------|-----------------|
-
- 問10 西暦804年、空海が遣唐使とともに唐へ渡った頃、日本国内で行われていた政策や出来事として正しいものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 承久の乱ののち、朝廷を監視するために京都に六波羅探題が設置された | 2. 坂上田村麻呂が征夷大將軍として東北地方に派遣され、支配地域を広げた | 3. 聖徳太子が冠位十二階を定め、家柄にとらわれない人材登用を行った | 4. 大名を厳しく統制するために武家諸法度が制定され、違反者は処分された |
|-------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
-
- 問11 12世紀後半に起こった保元の乱や平治の乱は、その後の日本の政治のあり方を大きく変えるきっかけとなりました。これらの動乱が武家政治の成立へとつながっていった背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 平将門が東国で新皇と称して独立を宣言したことにより、朝廷が地方の支配権をすべて武士に譲渡したため。 | 2. 地方の武士が全国的な組織を形成して朝廷を直接攻撃し、貴族に代わって新しい法律を定めたため。 | 3. 外国からの侵略に備えるため、朝廷が軍事の専門家である武士に政治の全権を委ねる制度を整えたため。 | 4. 朝廷内や貴族間の権力争いを武力で解決するために武士の力が不可欠となり、武士の政治的影響力が強まったため。 |
|--|--|--|---|
-
- 問12 平安時代初期、最澄が唐（中国）から日本に伝え、その後の日本仏教に大きな影響を与えた宗派と、その拠点となった寺院の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|---------------|--------------|--------------|
| 1. 時宗 — 清浄光寺 | 2. 真言宗 — 金剛峯寺 | 3. 浄土宗 — 知恩院 | 4. 天台宗 — 延暦寺 |
|--------------|---------------|--------------|--------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 源氏物語	紫式部によって書かれた物語は「源氏物語」であり、貴族社会の様子や情念を描いた国風文化の代表作です。なお、「枕草子」は清少納言による随筆、「平家物語」は鎌倉時代の軍記物語、「徒然草」は鎌倉時代末期の吉田兼好による随筆です。
問2	答え 3 仮名文字	平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に日本の風土や感性に合った「国風文化」が発達しました。この時期に、漢字を崩して書く「ひらがな」や、漢字の一部を取った「カタカナ」といった「かな（仮名文字）」が発明されました。これにより、漢字だけでは表現しにくかった日本人の感情や考えを自由に書き記すことが可能になり、紫式部による『源氏物語』などの優れた宮廷文学が誕生しました。
問3	答え 1 天皇が幼少のときには摂政として、成人した後には関白として、政治の実権を握った。	藤原氏は、自分の娘を天皇の后に送り出し、その間に生まれた子を次の天皇に即位させることで、天皇の親戚（外戚）としての地位を固めました。天皇が幼い時期は「摂政」の役職で政治を代行し、成人してからも「関白」として政治の全般を補佐・管理することで、長期間にわたり権力を独占しました。
問4	答え 1 壇ノ浦	源頼朝が挙兵した後、平氏は源義経らによって西へと追い詰められました。1185年、山口県の下関にある壇ノ浦で行われた海戦に敗れ、平氏政権は完全に滅びました。
問5	答え 2 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を行うことを重視した。	奈良時代には僧が政治に干渉する弊害が見られたため、平安時代初期の新しい仏教は、比叡山や高野山といった山の中に寺院を構え、世俗を離れて修行に専念するスタイルを取りました。これを山岳仏教と呼びます。
問6	答え 3 自分の娘を天皇と結婚させ、その間に生まれた皇子を次の天皇に立てて、自らが外祖父として後見したため。	摂関政治の仕組みは、天皇との血縁関係を基礎としています。道長は4人の娘を次々と中宮や皇后にし、生まれた子（孫）を天皇に即位させることで、天皇の母方の親戚（外戚）としての地位を固め、政治の決定権を握り続けました。
問7	答え 3 建築では日本特有の寝殿造が、衣服では男性の正装である束帯や女性の十二単などが用いられるようになった。	国風文化の時代、生活のあらゆる面で日本風の形式が整えられました。建築様式では、風通しを考慮した「寝殿造（しんでんづくり）」が貴族の住宅として定着し、衣服においても、日本の気候に合わせて重ね着をする「束帯（そくたい）」や「十二単（じゅうにひとえ）」といった貴族独自の装束が完成しました。これらは、中国の模倣ではなく日本の生活環境に適応させた結果です。
問8	答え 3 天皇の母方の祖父（外戚）という立場を確立し、天皇の後見することで政治の実権を握るため	藤原氏は「外戚（がいせき）」、つまり天皇の母方の親戚となることで、宮廷内での発言力を極限まで高めました。藤原兼家や道長は、娘を天皇の妃として送り込み、生まれた皇子が即位すると、その祖父として摂政などの要職に就きました。これは武力によるクーデターではなく、当時の婚姻制度や家族形態を利用した権力独占の仕組みです。
問9	答え 1 坂上田村麻呂 — 征夷大將軍	桓武天皇は東北地方への勢力拡大を重視し、軍事的な成功を収めるために有能な武官である坂上田村麻呂を「征夷大將軍」に任命しました。彼は東北地方へ進撃してアテルイなどの蝦夷の指導者を降伏させ、胆沢城を拠点として朝廷の支配地域を北へと大きく広げました。他の選択肢にある足利尊氏は鎌倉幕府を滅ぼした後の人物であり、時代が異なります。
問10	答え 2 坂上田村麻呂が征夷大將軍として東北地方に派遣され、支配地域を広げた	空海が唐に渡ったのは平安時代の初期である。この時期、桓武天皇の命を受けた坂上田村麻呂は、征夷大將軍として東北地方へ遠征し、胆沢城を築くなどして蝦夷（えみし）の抵抗を抑え、朝廷の支配地域を拡大した。他の選択肢について、冠位十二階は飛鳥時代、六波羅探題は鎌倉時代、武家諸法度は江戸時代の出来事であり、時期が異なる。
問11	答え 4 朝廷内や貴族間の権力争いを武力で解決するために武士の力が不可欠となり、武士の政治的影響力が強まったため。	保元の乱や平治の乱では、皇位継承や貴族社会の内部対立を解決するために、武士の軍事力が利用されました。この過程で、貴族たちは武士の力なしには権力を維持できないことが明らかになり、武士が政治の中枢に進出する道が開かれました。特に平治の乱に勝利した平清盛は、武士として初めて太政大臣に就任し、武家政権の先駆けとなりました。
問12	答え 4 天台宗 — 延暦寺	最澄は、唐に渡って仏教を学び、帰国後に比叡山（滋賀県と京都府の境）に延暦寺を建立して天台宗を広めました。空海が和歌山県の高野山に金剛峯寺を建てて開いた真言宗と混同しないよう注意が必要です。延暦寺は「日本仏教の母山」とも呼ばれ、後に鎌倉新仏教を開く多くの僧侶たちがここで修行しました。